

1 「NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク」について

(1) 概要

「NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク」(1999 年 MIE チャイルドラインセンターとして創立、2009 年 NPO 法人設立)は、「チャイルドライン MIE」「こどもほっとダイヤル」「子ども専用メール」「MIE ちゃんに聞いてみよう」「オンラインチャット」等、子どもたちの身近にある電話や SNS などのツールを通してチャイルドライン事業(※)を実施することで、学校や家庭等で自らが持つ権利を侵害された子どもたちが、ありのままを受容されることでエンパワメントし、自ら問題に立ち向かえるよう支えています。

※チャイルドライン事業

さまざまな悩みや心配事を抱えた 18 歳までの子ども専用相談事業です。子どもを主体として、子どもの最善の利益を実現することを目的としています。「子どもの権利条約」の理念・精神を基本として、子どもの話を傾聴し、子どもの自己肯定感を高めることに貢献しています。

(2) 活動内容

①チャイルドライン MIE (電話相談員による電話相談)

1 日 5 時間 (16 : 00 ~ 21 : 00) 毎日実施 (年末年始を除く)

計 250, 931 件の電話相談に対応 (2002 年 9 月 6 日 ~ 2023 年 3 月 31 日まで)

②こどもほっとダイヤル (電話相談員による電話相談) 県委託事業

1 日 8 時間 (13 : 00 ~ 21 : 00) 毎日実施 (年末年始を除く)

計 18, 491 件の電話相談に対応 (2012 年 2 月 10 日 ~ 2023 年 3 月 31 日まで)

③子ども専用メール

相談内容に対する返信はしないメールの窓口です。返信は必要ないけれど、誰かに聴いてほしいという子どもが利用します。(2022 年度 : 35 件受信)

④MIE ちゃんに聞いてみよう

同団体のホームページ上で、子どもたちがメールで相談すると、個別には返信しませんが、ホームページ上で返事を掲載する仕組みです。ホームページ上で立ち寄った子どもたちが相談内容を一つの事例としてみることができ、自分に重ねて考えることができます。(2022 年度 : 139 件受信)

- ⑤チャイルドライン支援センターとの協働事業「オンラインチャット」
(2022年度：818件受信)

2 保健文化賞について

(1) 概要

保健文化賞は、保健衛生の向上に寄与することを目的に、保健衛生分野における業績をたたえる表彰制度として、1950年に第一生命保険株式会社が、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団の後援のもと創設しました。創設当時は、戦後、社会的に喫緊の課題であった結核や栄養不足等の分野の功績者を対象としていましたが、近年では生活習慣病対策、高齢者や障がい者への福祉、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組んできた方々を表彰しています。

なお、過去に県内から9件(団体7、個人2)の受賞実績があり、直近では、平成30年度に「三重いのちの電話協会」が受賞しています。

(2) 第75回保健文化賞の受賞結果

第75回を迎える本年度は、団体・個人合わせて45件の応募があり、審査委員による選考の結果、団体10件、個人3名が受賞しました。

本県から推薦した「NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク」は団体の部での受賞となります。

(3) 受賞理由

「NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク」は長年にわたり、さまざまな悩みや心配ごとを抱える子どもたちに対し、相談員が電話を通して思いに寄り添うことで、三重県の子どもの心の支えとなるとともに、自己肯定感を高めることに貢献しています。それらの業績が評価され、このたび、第75回保健文化賞を受賞することとなりました。

(4) 表彰状の贈呈等

令和5年12月20日(水)に贈呈式・祝賀会があり、受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、第一生命保険株式会社からは感謝状とともに賞金(団体200万円)、朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団からは記念品が贈られました。また、翌21日(木)に皇居に参内し、天皇皇后両陛下に拝謁を賜りました。